

鎌倉文学館指定管理業務 実績評価（平成30年度第3四半期）

1 利用の承認等に関する業務

(1) 来館者数の動向

10月から12月までの来館者数は24,412人で、昨年度の第3四半期と比較して、2,649人、約12.2%の増となった。

(2) 分析

10月の台風で建物に被害があり、庭園の植木やバラの一部が塩害を受けたが、来館者数に大きな影響がなく、展覧会や文学館フェスティバルの各イベントが非常に好評であった。

2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務

(1) 施設・設備

ア 設備機器の保守点検について計画どおり行われた。

イ 冷熱・空調機器点検野結果、本館系チラー冷媒不足、収蔵庫系冷却塔の冷却水温度計破損など不具合が見つかり見積り依頼中である。

(2) 文学館資料

ア 冷却塔の冷却水温度計が破損しているが、収蔵庫内の温湿度計は正常に作動し、温湿度管理は適切に行われている。

イ 文学館資料の特別利用について適切な事務処理によって行われている。(1件)

3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務

(1) 展覧会

事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。

ア 特別展「鎌倉時代を読む 古典から現代作品まで」

イ 収蔵品展「作家と歩く鎌倉 その3 北鎌倉・大船方面」

ウ 常設展「鎌倉ゆかりの文学」

エ 特別展「生誕100年 清水基吉」

オ ミニ特集 生誕140年 昇曙夢

カ ミニ特集国際アンデルセン賞・市民栄誉賞受賞記念ミニ展示「角野栄子」

キ ミニ特集映画化記念ミニ特集「ビブリア古書堂の事件手帖」

(2) 普及事業

ア 10月13日から11月18日まで、鎌倉文学館フェスティバル2018を開催し、市内の文学ゆかりの場所を巡る「秋の文学スタンプラリー」、朗読ワークショップ、第7回鎌倉文学館こども文学賞表彰式、など様々なイベントが行われ、いずれも好評であった。

イ 「鎌倉の政事・宗教・古典」などの古典講座や文学散歩「鶴岡八幡宮周辺」、テラスコンサートを開催し、積極的に普及事業を実施した。

ウ 10月には市内中学生のインターンシップ受け入れを行い、通常の観覧では得られない作業を体験することで文学に多面的に親しむ機会を提供した。

(3) その他文学の振興及び文学館の設置目的を達成するために必要な業務

- ア 市内在住の童話作家 角野栄子さんが自身の作品を朗読する「角野栄子さんのおはなし会」を毎月1回開催した。国際アンデルセン賞を受賞され、参加者が多く好評を得た。
- イ 鎌倉文学館フェスティバル2018でバラの解説や、「ヴァイオリン&ピアノのコンサート」など4つのコンサートを実施し、盛況のうちに終了した。

4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務

- (1) 収蔵品の適切な保存、整理ができています。市職員の立ち会いのもと所在確認を行った。
(11月9日、11月14日、11月28日、12月7日)
- (2) 資料の補修を適宜実施した。

5 その他市長が定める業務

- (1) 文学館資料の調査及び研究
事業計画どおり、収蔵品展、特別展及び常設展を開催した。
- (2) 事務処理
 - ア 例月の指定管理業務報告書等が期日までに提出された。
(10月分:11月14日、11月分:12月12日、12月分:1月11日)
 - イ 展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
 - ウ 市広報に展覧会や関連イベントの情報を掲載し、市民への周知を行った。
 - エ 市モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に周知を行った。
- (3) その他
 - ア 教育普及活動として、中学生のインターシップを受け入れた。
 - イ SNSを活用し、タイムリーな情報の発信を行った。
 - ウ メディア対応を積極的に行った。
 - エ 近隣保育園・幼稚園の受入を行った。
 - オ 学校や各種団体の視察等に対応した。
 - カ 文化財IPM実践のための研修会に参加した。(1名)
 - キ 平成30年度博物館学芸員専門講座を受講した。(1名)
 - ク 警備員教育・訓練を受講した。(2名)

6 全体評価

- (1) 第3四半期の観覧者数(24,412人)は、平成29年度(21,763人)と比較して、2,649人・約12.2%の増であった。また、前指定管理期間の平均値(23,953人)と比較して459人・約1.9%の増であった。台風により庭園の植木・バラなどに塩害被害があったが、観覧者数に影響はなく、TwitterやFacebookなどの反応が好調であり、多くのイベントを開催したことにより観覧者数が伸びた。
- (2) 10月1日から12月9日まで特別展「鎌倉時代を読む 古典から現代作品まで」を開催し、観覧者数は22,917人であった。来館者が関心を示す展示を引き続き行ってほしい。

- (3) 特別展を開催しながら、盛況で好評を得た鎌倉文学館フェスティバル2018を開催できたことは大変評価を得るものである。今後も、集客できる特別展やイベントを開催してほしい。
- (4) 今後も、TwitterやFacebookなどのSNSを活用する随時情報発信や、リーフレット・ポスターなどによる効果的な広報活動を積極的に続けられたい。
- (5) 施設・設備管理について、事業計画に基づき適切に行われている。施設、設備ともに老朽化が進む中、日頃から適宜点検に努め、重大な事態を未然に防いでいる。今後も修繕箇所を予め把握し優先順位をつけて修繕を行っていくよう留意されたい。

鎌倉文学館 平成30年度 第3四半期 判定評価

評価項目	配点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定管理期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
資料に悪影響が出ないよう適正な承認を行っているか	10	○	
2 施設及び設備並びに文学館資料の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
文学館資料の維持管理			
収蔵品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、収蔵品が適切に取り扱われているか	5	○	
3 文学館の事業の企画及び実施に関する業務			
展覧会			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
普及事業			
計画どおりに普及事業が行われているか	5	○	
文学館資料の調査及び研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
調査・研究の成果を市民等に公開されているか	5	○	
その他必要な業務			
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 文学館資料の収集、保存、整理に関する業務			
収集、保存、整理			
文学館の趣旨にあった資料の購入ができているか	5	○	
寄贈・寄託の手続きが適切に行われているか	5	○	
劣化した資料の修繕や補修が行われているか	5	○	
基準に沿った資料整理が行われているか	5	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告がなされているか	5	○	
その他			
適切に収蔵品管理システムが運用されているか	5	○	
備品や文学案内板等の管理が適切になされているか	5	○	
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%